

# 7月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和3年7月末現在〕

令和3年8月12日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで回復した。

業種別でも、製造業・非製造業ともに「景況」「売上高」「収益状況」全てで改善した。

非製造業の売上等が改善し、全体の数値を押し上げた。

原料や燃料等の値上がりによる収益圧迫の傾向は依然として続いている。

## 景況DI

製造業は、前月比で7.7ポイント改善の-30.8ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント改善の-37.5ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の-34.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-7.7ポイント、非製造業は、前月比29.2ポイント改善の0.0ポイント、全体では、前月比16ポイント改善の-4.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比11.5ポイント改善の-23.1ポイント、非製造業は、前月比8.4ポイント改善の-33.3ポイント、全体では前月比10.0ポイント改善の-28.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
食料品製造業	学校給食パン	今月14日に中央最低賃金審議会において、全国平均で28円の引き上げが発表されたが、中小企業、特に当業界では、深刻な人手不足で人が集まらない。採用募集で賃金を上げててもなかなか入社してもらえず、天井知らずのまま人件コストを上げてても人手不足は解消されない。	
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県6月の清酒課税移出数量は、前年同月比90.9%であった。3ヶ月振りに前年同月比マイナスとなり、コロナ禍前の前々年同月比でも84.6%の減でかなり厳しい。本格焼酎については、前年同月比82.3%であったが、前々年同月比では65.6%とさらに厳しい状況。首都圏で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、酒を取り巻く環境は依然厳しい。清酒の輸出については、県や企業間で温度差があるもののコロナ禍で国内マーケットが不安定の中、輸出に力を入れて、令和3年6月の前年同月比輸出数量(全国ベース)は、164.5%と好調であった。新型コロナウイルスの感染が落ち着いている、香港・中国が好調で、香港・中国・米国で輸出の60%以上を売り上げている。 ○県内当業界について まだまだ新型コロナウイルスワクチンの接種には時間を要し、現在も旅行・会食の自粛が続いている。外飲みが期待できない中、購入の選択肢に品質が高くなっている地酒をアピールしていくことが課題と感じている。まずは地元茨城での地酒購入推進に注力する。	
	納豆	原料の大豆等の資材価格や燃料価格の高騰により業界の景況は大変厳しい。納豆の消費も暑くてあまり良くない。コロナ禍の影響により、観光客が少なく、土産品や業務用納豆の売上が大変厳しい。例年お盆の時期は人出が多いが、コロナ禍の影響で人出が少なくなるのは、業界にとっては大変厳しい状況になる事が予想される。	
	菓子	長期間に及ぶコロナ禍の対応に市民は疲れている。感染者数は依然として多く、ワクチン接種が60%程度に進まないと、経済や景況の改善は望めないように感じる。	
繊維工業	袋物	今月もまだまだ景況の改善の兆しがない。オリンピックが始まって、特に大きな動きもない。	
製 造 業	木材・木材製品	製材	・全体的な荷動きは落ち着いてきたが、品薄、高値が続いている状況。 ・原木の価格について、スギは横ばい、ヒノキは上昇している。 ・住宅着工にも影響が続いている状況。
		県北地区プレカット	当月の加工坪数は目標の80%となった。8月も加工予定は例年よりは多く入っているが、木材の入荷の遅れにより、加工に入れない物件が多い。木材価格も輸入材については、上昇する可能性がある。
		県央地区プレカット	納材に1~2ヶ月かかってしまう場合もあり、早めの発注をする流れになってきている。納材時期が不確定な部分はあるが、予定が遅れながらも納材はされているので工場稼働が停滞することはない。しかし、まだ木材の高騰・品薄は続いているので、この先の不透明な状況に変わりはない。
紙・紙加工品	段ボール	当月は前年同月よりも売上実績が良くないという回答が組合員から多く聞かれた。明確な原因は不明だが、世の中の物の動きが鈍化しているように感じる。新型コロナウイルスの感染者が増え、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による店への休業要請や営業時間短縮、酒類の提供停止等からの経済的な影響は避けられない。来月の売上が心配される。	
印刷	総合印刷	売上高や業界の景況等は低調に推移しており、前年同月比では不変であるが、コロナ禍以前の景況水準には到底及ばない状況が続いている。データでのやり取りが一層進み、「紙への印刷」需要が大きく落ち込んでいる状況で、中小零細印刷業者の不安感は大い。	
窯業・土石製品	陶磁器	茨城県全域で8月6日から19日まで県独自の緊急事態宣言が発令されるなど、新型コロナウイルスの影響を受けることが続く予想される。先の見えない状況であるが、できる事を可能な限り取り組んでいく。	
鉄鋼・金属	鉄鋼	・売上高については前月同様、前年同月比で15~20%の増加であった。しかし、前月同様、昨年の実績が悪かったためであり、前々年同月比ではまだ減少している。傾向としては完全ではないが2~3年前の水準に戻りつつある。 ・金属については、貴金属・ニッケル・銅・亜鉛などは高値傾向である。 ・薬品等については大きな変動はない。	
一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比ですべて増加となった。全体増減率は前年同月比152%であった。前年同月がコロナ禍による売上大幅減少という要因があるものの、当月は直近5年間で最大の売上高を確保。全組合員が売上増加となり、主要取引先が好調であるのを受け、業績改善傾向が続いている。	
輸送用機器	県北地区自動車部品	売上高は回復基調にあるが、取引条件は徐々に厳しくなっている。	

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和3年7月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比3.82%減少。7月28日に丑の日(ウナギ)に連動して多少の荷動きがあったものの、依然として厳しい状況が続いている。本来なら今頃から少しずつサンマの入荷が見られるが、前年より漁獲量が下がるとの予測が発表され、関連業者等には不安が広がっている。新型コロナウイルスの第5波の拡大でどこまで影響が出るのか予測がつかない状況である。
	県南地区卸	売上高は徐々に回復しつつあるが、従来の売上高には程遠い。在庫は、商品仕入れの増加等によりやや増加した。収益状況については、経営の効率化や経費の削減等を図り、好転しつつある。
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約14%減少した。建設工場の減少によるものと思われる。
非製造業	卸売業	
	県北地区共同店舗	売上は前年同月比104%、客数は同97.4%であった。退店があったが、既存店が売上を増加させた。プレミアム付き商品券の影響もあった。
	県央地区共同店舗	館全体の売上(客数)は前年同月比96%(96%)、食品97%(99%)、飲食100%(100%)、ファッション104%(105%)であった。施策として、7月9日(金)~11日(日)の3日間、サマーバーゲンを開催(チラシ折込)。マスク・マスク生地・消毒液など前年に好調だった商品需要が落ち着き、対象商品販売店舗は売上・客数共に大きく減少している。新型コロナウイルスの感染者の増加や8/6(金)のからの県独自の緊急事態宣言で来店客数が減少することを心配している。9月より笠間市プレミアム付商品券の発行が決定しており、消費拡大に期待したい。
	県南地区共同店舗	売上高は前々年同月比で80%と依然として厳しい。コロナ禍等の影響により、飲食店が1店退店、アミューズ施設が退店と、店内の空きスペースがさらに目立ってきた。売上高は前年同月比で全体97.0%、衣料94.8%、文化品63.8%、食料品94.1%、飲食112.9%(特注ありのため)、サービス113.2%となった。
	家電	コロナ禍による外出自粛等で、家で快適に過ごすための関連商品においては売上が好調で推移した。(クリーナー、オーブントースター、エコキュート) また、夏物商品(エアコン、冷蔵庫)についても売れ行きが好調である。なお、メーカーによっては半導体不足により品切れが発生しており、販売面では商品確保に苦慮している。
	小売業	
	燃料小売	前年同月よりガソリンの販売数量・販売価格は上昇したが、原油価格上昇分の仕入れ値を販売価格に転嫁出来ずにおり、収益状況は悪化していると言える。原油価格は今後も上昇すると予想されており、これ以上販売価格が上昇すると消費者の消費行動にも影響があるものと考えられ、ますます、価格に転嫁が難しい状況になりそうである。
	中古自動車	販売台数は前年同月比85.0%と減少したものの、販売価格が同123.0%と大幅に上昇したため、売上高は同104.5%と前年同月を上回る実績となった。しかしながら、販売価格の上昇は、半導体不足に伴う新車販売低迷が流通車の減少と仕入価格・小売価格の高騰を引き起こしているため、売上高の上昇が必ずしも収益の好転には繋がっていない。
	食料品	食品流通業により、新型コロナウイルス感染拡大の中での食のライフラインを担っているため、売上に関しては比較的好調に推移してきた。しかし、前年の巣ごもり需要の拡大の実績の影響を受け、今年3月からは前年実績から大きく下回ってしまった。7月も店頭売上は前年同月比90%以下の店舗が続出した。この中で売上が悪化した部門は、青果・精肉が前年同月比90%、雑貨が同85%であった。県内の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、来店客数が前年同月比94%と大きく減少したことが要因と思われる。消費期限の短い食料品が嫌われている傾向が続いている。
野菜・果実	今年度は梅雨明けが例年と比べて早く、天候にも比較的恵まれていたことで、前月までと引き続き単価安で推移することとなった。前年同月が悪天候により高値であったこともあり、7月は前年同月比で野菜果実合計で83%の取扱い高となった。巣ごもり需要という言葉が聞かれなくなり、スーパーなどの大型店も含め、ほとんどの組合員が前年度より取扱いが減少している。	
商店街	筑西	新型コロナウイルスの感染者の増加により、7月26日頃から来客数が減少している。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が96.2%、軽自動車が94.8%であり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
	ホテル・旅館	4連休から夏休みに移行し、売上としては前年同月を超えている。しかし、前年同月は休業や週末営業等で通常営業にはほど遠く、前々年同月比であれば60%程度の売上ではない。
建設業	総合	前月と大きな変化はなく、県規模の大型物件の入札が始まった関係で組合上位クラスの組合員は受注機会が増えそうだが、中規模組合員は仕事が少なく競争が激化している。
	型枠工事	新規物件も発注されてきたが、当業界は、いまだに盛況ではない。特に、県北地方の工事量は、昨年度より、少ない状況が続いている。さらに、ウッドショックによる木材の手配難が大変厳しくなってきたのに加え、鋼材の値上げがあり、経営状況を悪くしている。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和3年7月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	運輸業	
	一軽貨物運送	当月の組合員数は117名、車輛台数は150台で前月と比較して1名と1台の減少となった。また、運送売上高については、前年同月比127%であった。全国連合会での当月の組合員数は7,372名、車輛台数8,760台で前月と比較して35名減少、48台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向の影響で、出荷物量は一部の製品を除き、全体としては減少したままであり、売上高も減少したまま継続している。一方、燃料価格はさらに上昇しており、経費が増加している分、収益もさらに厳しい状況にある。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	一律での最低賃金導入反対を要望する。 学校給食におけるパン給食回数増加。
	清酒	茨城にもまん延防止等重点措置が発令され、酒の提供は行えなくなった。飲食店のみならず酒蔵は大打撃であり、酒の供給側への行政への持続化給付金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
	納豆	観光関係にも補助金を出していただけると大変助かる。
小売業	県央地区共同店舗	店舗の売上減少や退店により収入が減少している。協同組合や店舗が活用できる補助金や助成金の情報を教えて欲しい。
	燃料小売	・揮発油税に課税している二重課税の廃止 ・官公需適格組合の周知・活用
商店街	筑西	このままでは飲食店の経営は成り立たなくなってしまう。新型コロナウイルスに対して、飲食業界とその他業界の危機感が違いすぎる。このまま外出自粛が続くのは厳しい。
建設業	総合	公共工事は工事単価が決められているため工事の難度による工事価格が高利益率のものと低利益率の物が混在している。現場を知らない発注担当者も多くダンピング工事と不調工事が同時に出ることの理解が難しいようだ。なぜそうなるか調査して対応をお願いしたい。
	型枠工事	茨城県は木材の供給量が多いと思う。さらに、型枠用合板や棧木(さんぎ)、端太角(ばたかく)の生産を増加してくださるよう、よろしくをお願いしたい。

月次景況調査 7月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比
景 況	▲ 34.0	▲ 40.0	6.0	▲ 30.8	▲ 38.5	7.7	▲ 37.5	▲ 41.7	4.2
売 上 高	▲ 4.0	▲ 20.0	16.0	▲ 7.7	▲ 11.5	3.8	0.0	▲ 29.2	29.2
収 益 状 況	▲ 28.0	▲ 38.0	10.0	▲ 23.1	▲ 34.6	11.5	▲ 33.3	▲ 41.7	8.4
販 売 価 格	0.0	0.0	0.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	4.2	4.2	0.0
取 引 条 件	▲ 16.0	▲ 16.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	3.8	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 4.2

# 中小企業月次景況調査(令和3年7月)DI値(前年同月比)

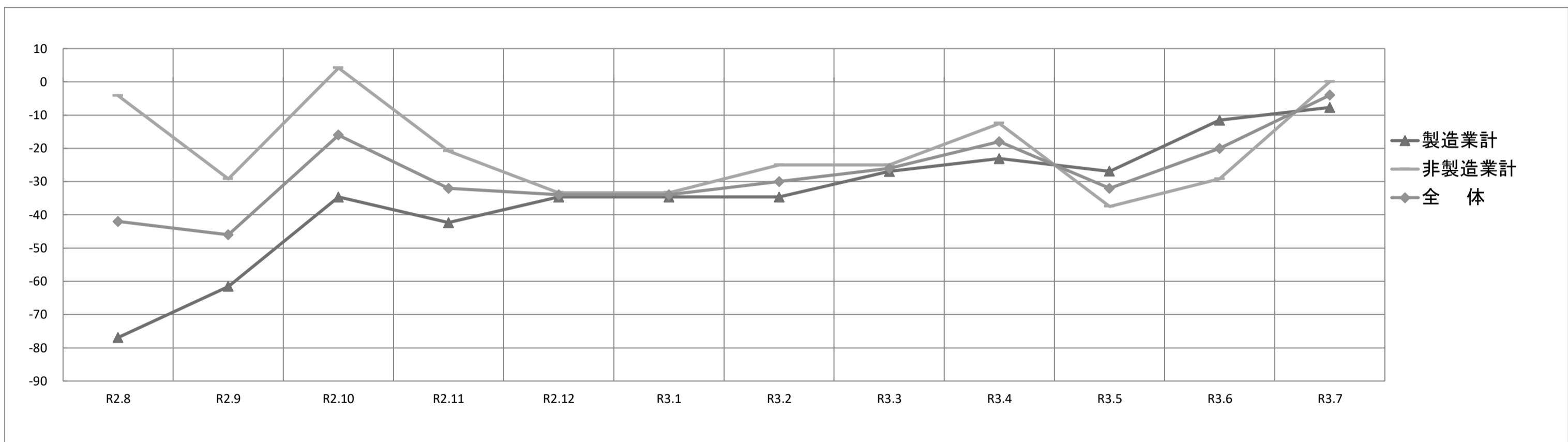
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	1	0	5	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	1	3	2	6	0.0	0	6	0	6	△ 50.0	1	1	4	6	△ 50.0	1	1	4	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 66.7	0	2	4	6
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5
	鉄鋼・金属	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	66.7	2	1	0	3	33.3	1	2	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	1	0	2	3	△ 33.3	1	0	2	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
製造業計	△ 7.7	7	10	9	26	3.8	3	21	2	26	△ 3.8	3	19	4	26	△ 15.4	0	22	4	26	△ 23.1	3	14	9	26	△ 26.9	2	15	9	26	△ 7.7	3	18	5	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 30.8	1	16	9	26	
非製造業	卸売業	△ 33.3	1	0	2	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小売業 (商店街含む)	△ 8.3	5	1	6	12	△ 8.3	0	11	1	12	8.3	2	9	1	12	△ 33.3	0	8	4	12	△ 58.3	0	5	7	12	△ 33.3	0	8	4	12					△ 16.7	0	10	2	12	△ 41.7	0	7	5	12	
	サービス業	50.0	1	1	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		
	建設業	0.0	1	3	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	50.0	1	1	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	0.0	9	6	9	24	△ 6.7	1	12	2	15	4.2	2	21	1	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 33.3	1	14	9	24	△ 16.7	1	18	5	24					△ 8.3	0	22	2	24	△ 37.5	0	15	9	24	
全体	△ 4.0	16	16	18	50	0.0	4	33	4	41	0.0	5	40	5	50	△ 16.0	0	42	8	50	△ 28.0	4	28	18	50	△ 22.0	3	33	14	50	△ 7.7	3	18	5	26	△ 10.0	1	43	6	50	△ 34.0	1	31	18	50	

## D I 値推移表 (R2. 8月 ~ R3. 7月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7
食料品製造業	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0	10.0
製造業計	▲ 76.9	▲ 61.5	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 11.5	▲ 7.7
卸売業	50.0	25.0	100.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	100.0	33.3	▲ 66.7	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	9.1	▲ 16.7	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 8.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	50.0
建設業	20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 29.2	4.2	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 29.2	0.0
全体	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 18.0	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 4.0

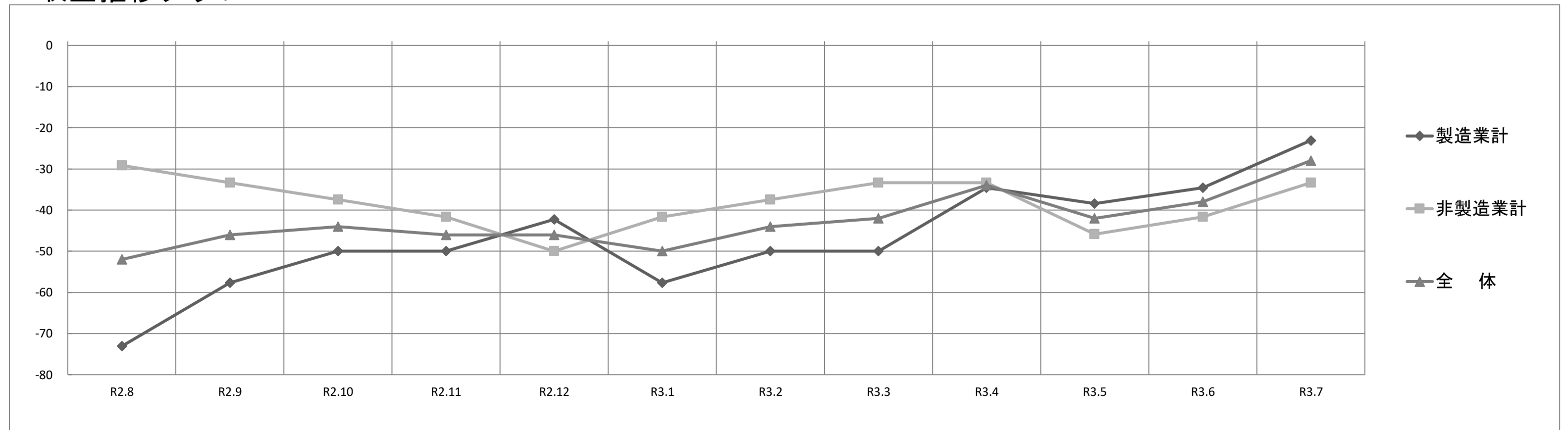
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 80.0	▲ 65.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 73.1	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 23.1
卸売業	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 58.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 45.8	▲ 41.7	▲ 33.3
全体	▲ 52.0	▲ 46.0	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 46.0	▲ 50.0	▲ 44.0	▲ 42.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 38.0	▲ 28.0

### 《収益推移グラフ》

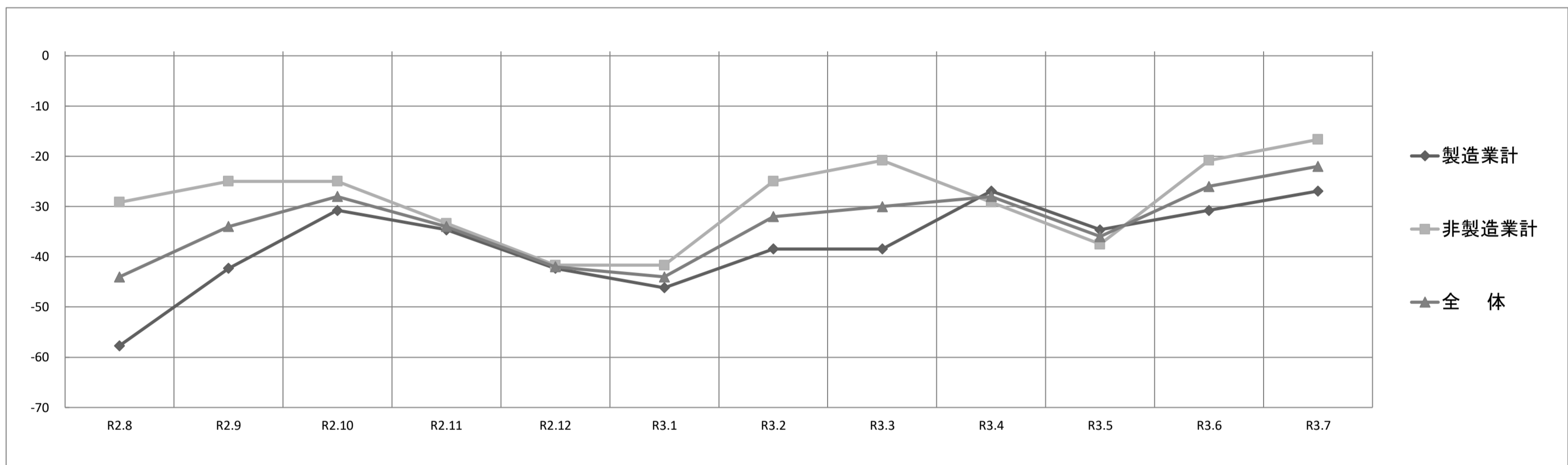


## D I 値推移表 (R2. 8月 ~ R3. 7月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 57.7	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 26.9
卸売業	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 25.0	▲ 33.3
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 37.5	▲ 20.8	▲ 16.7
全体	▲ 44.0	▲ 34.0	▲ 28.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 36.0	▲ 26.0	▲ 22.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 30.8
卸売業	0.0	0.0	25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 33.3	▲ 100.0	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 41.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 37.5
全体	▲ 50.0	▲ 48.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 32.0	▲ 38.0	▲ 40.0	▲ 34.0

### 《景況推移グラフ》

